

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀市秋谷三丁目計画	階数	地上4F、地下2F
建設地	神奈川県横須賀市秋谷三丁目344番1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	72人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年10月28日
敷地面積	2,538 m ²	作成者	一級建築士事務所株式会社デザイネットワークス
建築面積	1,469 m ²	確認日	2025年10月28日
延床面積	6,814 m ²	確認者	一級建築士事務所株式会社デザイネットワークス



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 62%
③上記+②以外のオンサイト手法: 61%
④上記+オフサイト手法: 61%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境: 3.0, 温熱環境: 3.2, 光・視環境: 3.1, 空気質環境: 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性: 3.1, 耐用性・信頼性: 3.2, 対応性・更新性: 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境: 3.0, まちなみ・景観: 3.0, 地域性・アメニティ: 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の熱負荷: 4.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 5.0, 効率的運用: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源保護: 3.0, 再生材料の使用削減: 2.5, 汚染物質回避: 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

地球温暖化への配慮: 4.5, 地域環境への配慮: 3.5, 周辺環境への配慮: 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>神奈川県横須賀市に建設される共同住宅として、住環境・周辺環境に配慮をした計画。 第三者認証により、ZEH-M Orientedおよびエコまち法に基づく低炭素認定を取得を予定している。</p>	特に無し。
<p>Q1 室内環境 品確法に基づく断熱等性能等級5以上を確保し、適切な昼光制御、また化学汚染物質の発生を抑制した室内環境を確保している。</p>	<p>Q2 サービス性能 鉄筋コンクリート造として、品確法に基づく劣化対策等級3を確保し、外装材・内装材ともに耐用年数が高い建材を使用している。</p>
<p>Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。</p>	<p>LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率61%</p>
<p>LR1 エネルギー 高断熱により建物外皮の熱負荷抑制を実現している。 ※全住戸 UA値0.60以下</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 汚染物質含有材料の使用回避として、ODP、GWPが低い発泡剤を採用している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される